

# 病院の実力「泌尿器科がん」

医療機関別2010年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名 〈東京〉	前立腺がん全摘手術(件)	前立腺がん外照射治療(件)	膀胱がん全摘手術(件)	腎臓がん全摘手術(件)
がん研有明	187	130	43	28
東京医大	157	15	18	27
慶応大	156	67	7	46
慈恵医大	134	5	18	58
聖路加国際	100	15	10	12
国立がん研究七中央	98	72	32	26
NTT東日本関東	85	0	3	10
日本医大	76	50	2	25
東京医科歯科大※1	75	15	11	48
帝京大	52	45	10	34
武蔵野赤十字	49	46	14	14
長久保	49	0	10	3
日赤	45	30	10	17
杏林大	44	71	18	41
東京女子医大	41	82	11	78
東部地域	39	0	7	6
東邦大大森	36	23	2	22
順天堂大	33	40	8	35
明理会中央総合	32	0	15	12
青梅市立総合	32	-	3	10
国際医療福祉大三田	30	11	7	9
北里研究所	30	4	7	16
東京警察	30	10	7	7
三井記念	29	1	7	17
虎の門	28	-	9	32
済生会中央※2	28	16	4	13
公立昭和	28	49	7	17
多摩総合	27	5	3	17
順天堂大練馬	25	48	5	11
東大和	25	19	5	10
多摩南部地域	23	38	3	6
町田市民	21	0	3	11
東芝	20	26	4	1
東京厚生年金	20	17	6	9
慈恵医大第三	20	10	10	20
昭和大	18	-	12	29
国・東京医療七	18	26	9	31
日本大板橋	17	32	7	16
東京共済	16	5	2	4
国立国際医療研究七	16	8	4	11
東京医大八王子	16	33	7	11
高木	16	0	1	9
勝和会	15	-	4	4

医療機関名 〈東京〉	前立腺がん全摘手術(件)	前立腺がん外照射治療(件)	膀胱がん全摘手術(件)	腎臓がん全摘手術(件)
平成立石	15	0	0	10
武蔵野陽和会	15	-	2	3
東京女子医大東	14	0	8	34
国・災害	14	12	5	14
多摩丘陵	14	0	2	2
東京西徳洲会	13	45	0	6
稲城市立	13	0	3	1
江戸川	12	304	1	18
東京臨海	12	5	3	10
関東中央	12	14	4	8
東邦大大橋	10	-	2	3
至誠会第二	10	0	2	6
板橋中央総合	10	0	4	8
練馬総合	10	-	8	17
日本大練馬光が丘	10	-	3	3
東海大八王子	10	0	3	22
東京女子医大青山	9	0	0	1
順天堂大江東高齢者	9	0	1	10
立川相互	9	0	4	3
東京逓信	8	0	1	8
慈恵医大青戸	8	0	10	11
荻窪	8	0	0	2
東京労災	6	14	2	9
駿河台日本大	5	5	8	6
都立広尾	5	0	6	2
JR東京総合	5	23	0	12
江東	4	15	2	5
豊島	4	0	3	3
社会保険中央総合	3	13	4	6
日野市立	3	0	0	3
東海大東京	2	-	-	7
多摩北部	2	6	1	5
厚生中央	1	10	1	2
佼成	1	6	2	3
佐々総合	1	0	2	1

「国・」は独立行政法人国立病院機構。「セ」はセンター。「一」は無回答または不明。全項目が「0」または「一」の施設は省略した。  
 ※1 外照射は機器入れ替えにより休止期間あり  
 ※2 外照射は2010年7月から開始

## 2012年1月8日 読売新聞 病院の実力「泌尿器科がん」特集で

当院の手術件数が掲載されました

### 泌尿器科がん

今回の「病院の実力」は、泌尿器科のがんを特集した。前立腺がんは一般に進行が遅いこともあり、すぐには治療せず、経過観察することも多い。治療で最も多いのは、前立腺を取り除く全摘手術。

## 病院の実力

多摩編 48

## 「早期」合併症少ない治療も

通常の開腹手術のほか、傷痕が少ない腹腔鏡手術など、患者の負担を減らす方法を工夫する病院が多い。放射線の外部照射治療も、全摘手術に匹敵する治療効果がある。患部を立体的にとらえて照射する三次元照射が普及している。ただし、どの治療も排尿障害や性機能障害などの合併症が出やすい。そこで近年、がんの形に合わせて照射に強弱をつけ、合併症を抑える「強度変調放射線治療」も増えてきた。

早期がんには、合併症がやや少ない「小線源療法」も行われている。放射線が出る金属のカプセルを前立腺内に埋め込む治療法だ。膀胱がんは、がんが粘膜

腎臓がんの場合、腎臓が左右にあるため、一方をすべて摘出しても腎臓機能は保たれる。がんの大きさが4センチ以下なら、部分的に切除して腎臓を残せる。どちらの場合も、腹腔鏡手術など患者に負担が少ない方法が探られている。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は2月5日「小児救急」の予定です。